



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場会社名 株式会社 ヤマナカ

上場取引所

コード番号 8190

URL <http://www.super-yamanaka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中野 義久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長

(氏名) 屋敷 昭二

TEL052-937-9310

四半期報告書提出予定日 平成23年10月31日

配当支払開始予定日

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年3月21日～平成23年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	51,063	△2.8	△165	—	22	△85.6	△937	—
23年3月期第2四半期	52,537	△4.7	10	△69.2	156	120.7	△27	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△46.46	—
23年3月期第2四半期	△1.37	—

(注) 営業収益は、連結損益計算書の「売上高」と「営業収入」を合計して記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	44,999	13,684	30.4	677.80
23年3月期	45,566	14,519	31.9	719.17

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 13,684百万円 23年3月期 14,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.25	—	6.25	12.50
24年3月期	—	6.25	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.25	12.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年3月21日～平成24年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	△2.1	400	△33.7	750	△8.3	0	—	0.00

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期2Q	20,425,218株	23年3月期	20,425,218株
24年3月期2Q	235,807株	23年3月期	235,788株
24年3月期2Q	20,189,423株	23年3月期2Q	20,302,892株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年3月21日～平成23年9月20日）におけるわが国経済は、東日本大震災による落ち込みのピークから下げ止まりの兆しが見られたものの、放射能汚染による各種被害、電力供給不足による事業活動の停滞、円高の長期化懸念に加えて欧米の景気急減速の影響リスクもあり、景気回復の勢いが抑えられた状況となっております。

当小売業界においては、震災の影響による消費者の節約志向から低価格競争が一段と激化していること、セシウム牛肉汚染問題による牛肉の販売不振等の食品の安全性不安、大型台風襲来等の天候不順、また、自動車産業を中心とした土日操業導入による消費の分散化、ライフスタイルの変化などが、当社グループの業績にも影響を及ぼしました。

このような環境の下、当社グループは、今期の基本方針であります「収益体質の強化」を達成するべく「基本力を徹底して磨き上げる」、「グラッチェカードにより営業政策の構造転換を図る」、「オペレーション改革により生産性を向上する」をグループ各社と連携を図りつつ取組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間のグループ連結業績は、不採算店の閉鎖を先行して進めたことから、営業収益510億63百万円（前年同期比2.8%減）、営業損失1億65百万円（前年同期比―）、経常利益22百万円（前年同期比85.6%減）となりました。また、特別損失として、資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額7億52百万円を計上したことから、純損失は9億37百万円（前年同期比―）となりました。

なお、セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

[小売事業及び小売周辺事業]

スーパーマーケット事業を中核とする小売事業部門では、4月に平安店（名古屋市北区）をエブリデー・ロー・プライスの「ザ・チャレンジハウス」へ業態変更したのを始めとして、20店舗の改装及び陳列替えを実施し売場の刷新をする一方で、老朽化した曙店（名古屋市昭和区）、西尾駅東店（愛知県西尾市）を閉鎖いたしました。

また、営業課題として「重点発想による売場作り」、「作業システム再構築によるローコストオペレーション」、「小集団活動によるグループ問題解決力の向上」、「お客様の信頼の獲得」、「グラッチェカードによる販促・MDの改革」に取り組んでまいりました。

その結果、営業収益は505億21百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

[スポーツクラブ事業]

3店舗のスポーツクラブを運営するプレミアムサポート株式会社では、エイベックスダンスマスターや、夏の短期スイミング教室など子供向けプログラムの新設、アスティスポーツクラブ八田店の開設7周年、同大府店3周年の記念イベントの開催による会員増加に向けた取組み、他のスポーツ施設運営の業務請負いなど積極的に展開しました。

その結果、スポーツクラブ事業の営業収益は3億83百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

[不動産事業]

店舗等の賃貸管理事業をする不動産事業の営業収益は1億58百万円（前年同四半期比16.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億66百万円減少し、449億99百万円となりました。これは主に有利子負債の返済により、現金及び預金が9億43百万円減少したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ、2億68百万円増加し、313億14百万円となりました。これは主に資産除去債務に係る会計基準の適用に伴う資産除去債務を11億99百万円計上したこと、投資有価証券の時価評価に伴い繰延税金負債が2億81百万円増加した一方、有利子負債が15億30百万円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ、8億35百万円減少し、136億84百万円となりました。これは主に利益剰余金が10億58百万円減少したことによるものであります。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末と比べ、9億89百万円減少し、51億68百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、6億62百万円（前年同四半期は、13億30百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失が7億73百万円となりましたが、減価償却費が5億97百万円、非資金性損失として資産除去債務会計基準に伴う影響額7億52百万円を計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、1億1百万円（前年同四半期は、1億48百万円の支出）となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入が3億56百万円であったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、17億53百万円（前年同四半期は、12億27百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純減額が11億円、長期借入金の純減額が2億17百万円、社債の純減額が2億24百万円、配当金の支払額が1億20百万円であったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想数値は、平成23年10月21日公表時より変更ありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

一部の連結子会社を除き、定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費を期間按分して計算しております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ30百万円、税金等調整前四半期純利益は783百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は1,269百万円であります。

②表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,321,873	6,265,827
売掛金	865,946	893,839
商品及び製品	2,347,875	2,415,304
仕掛品	597	378
原材料及び貯蔵品	42,778	34,957
繰延税金資産	430,430	338,190
その他	2,070,580	1,977,207
貸倒引当金	△3,330	△2,662
流動資産合計	11,076,752	11,923,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,343,695	9,287,819
土地	9,952,615	9,952,615
その他（純額）	1,592,612	1,399,996
有形固定資産合計	20,888,923	20,640,431
無形固定資産		
借地権	789,755	790,361
その他	34,656	34,542
無形固定資産合計	824,412	824,904
投資その他の資産		
投資有価証券	2,440,662	2,135,706
差入保証金	8,507,546	8,786,549
繰延税金資産	202,524	178,886
その他	1,117,461	1,137,128
貸倒引当金	△115,145	△115,878
投資その他の資産合計	12,153,049	12,122,392
固定資産合計	33,866,385	33,587,727
繰延資産	56,196	55,318
資産合計	44,999,334	45,566,090

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年3月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,131,368	6,060,764
短期借入金	2,005,000	3,105,000
1年内返済予定の長期借入金	4,563,834	3,435,834
1年内償還予定の社債	525,000	725,000
未払費用	1,304,487	1,249,577
未払法人税等	123,149	188,092
賞与引当金	377,599	333,606
ポイント引当金	60,153	29,788
その他	2,012,933	1,779,028
流動負債合計	17,103,525	16,906,691
固定負債		
社債	3,487,500	3,500,000
長期借入金	6,579,163	7,925,080
リース債務	646,962	667,950
繰延税金負債	306,645	24,837
退職給付引当金	608,636	586,486
長期預り保証金	1,199,954	1,235,740
資産除去債務	1,192,713	—
その他	189,789	199,771
固定負債合計	14,211,364	14,139,866
負債合計	31,314,890	31,046,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,220,618	4,220,618
資本剰余金	5,766,230	5,766,230
利益剰余金	4,094,763	5,153,134
自己株式	△861,607	△902,991
株主資本合計	13,220,004	14,236,992
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	464,439	282,540
評価・換算差額等合計	464,439	282,540
純資産合計	13,684,444	14,519,532
負債純資産合計	44,999,334	45,566,090

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年3月21日 至 平成22年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月21日 至 平成23年9月20日)
売上高	50,045,462	48,495,737
売上原価	37,696,227	36,158,548
売上総利益	12,349,234	12,337,188
営業収入	2,492,363	2,567,771
営業総利益	14,841,598	14,904,959
販売費及び一般管理費	14,831,389	15,070,155
営業利益又は営業損失(△)	10,208	△165,195
営業外収益		
受取利息	13,945	15,195
受取配当金	21,667	22,137
持分法による投資利益	8,968	—
オンライン手数料	182,070	178,216
投資有価証券受贈益	47,670	—
その他	45,209	135,636
営業外収益合計	319,532	351,187
営業外費用		
支払利息	147,180	133,827
持分法による投資損失	—	1,013
その他	25,658	28,548
営業外費用合計	172,838	163,390
経常利益	156,902	22,601
特別利益		
固定資産売却益	5,135	475
貸倒引当金戻入額	42	1,436
特別利益合計	5,177	1,912
特別損失		
減損損失	10,002	—
固定資産除却損	20,422	44,001
投資有価証券評価損	49,940	—
固定資産臨時償却費	70,694	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	752,695
役員退職慰労金	13,632	—
その他	17,087	1,689
特別損失合計	181,779	798,386
税金等調整前四半期純損失(△)	△19,699	△773,872
法人税、住民税及び事業税	96,113	80,840
法人税等調整額	△60,743	41,858
法人税等合計	35,370	122,699
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△896,571
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△27,287	41,398
四半期純損失(△)	△27,782	△937,970

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年3月21日 至 平成22年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月21日 至 平成23年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△19,699	△773,872
減価償却費	548,742	597,086
減損損失	10,002	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△436	△65
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,972	43,993
退職給付引当金の増減額(△は減少)	45,606	22,150
受取利息及び受取配当金	△35,613	△37,333
支払利息	147,180	133,827
持分法による投資損益(△は益)	△8,968	1,013
固定資産除却損	20,422	44,001
固定資産臨時償却費	70,694	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	752,695
売上債権の増減額(△は増加)	△112,663	27,892
たな卸資産の増減額(△は増加)	△61,631	59,388
仕入債務の増減額(△は減少)	667,029	70,604
投資有価証券評価損益(△は益)	49,940	—
未払費用の増減額(△は減少)	71,110	66,147
その他	197,160	△93,185
小計	1,592,848	914,345
利息及び配当金の受取額	22,671	23,196
利息の支払額	△146,731	△144,571
法人税等の支払額	△138,743	△130,304
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,330,044	662,664
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△37,000	△55,500
定期預金の払戻による収入	37,000	10,000
有形固定資産の取得による支出	△370,292	△174,853
有形固定資産の売却による収入	8,527	10,185
無形固定資産の取得による支出	△350	△1,189
差入保証金の差入による支出	△110,000	△14,391
差入保証金の回収による収入	313,272	356,412
預り保証金の受入による収入	29,887	555
預り保証金の返還による支出	△22,164	△37,370
その他	2,993	8,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	△148,126	101,852

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年3月21日 至 平成22年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月21日 至 平成23年9月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△440,000	△1,100,000
長期借入れによる収入	1,100,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△932,917	△1,217,917
社債の発行による収入	293,782	487,558
社債の償還による支出	△1,098,500	△712,500
リース債務の返済による支出	△26,274	△90,848
自己株式の取得による支出	△259	△15
自己株式の売却による収入	62	—
配当金の支払額	△120,453	△120,248
少数株主への配当金の支払額	△3,300	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,227,859	△1,753,971
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△45,941	△989,454
現金及び現金同等物の期首残高	5,819,396	6,157,827
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,773,455	5,168,373

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月21日 至 平成22年9月20日)

(単位：千円)

	小売事業 及び小売 周辺事業	スポーツ クラブ 事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	52,031,115	370,004	136,706	52,537,826	—	52,537,826
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	41,523	—	—	41,523	(41,523)	—
計	52,072,638	370,004	136,706	52,579,349	(41,523)	52,537,826
営業利益	380,379	1,699	4,849	386,927	(376,718)	10,208

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な事業

(1) 小売事業及び小売周辺事業……スーパーマーケット事業及びその付帯事業

(2) スポーツクラブ事業……スポーツクラブの運営事業

(3) その他の事業……不動産の賃貸管理事業

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月21日 至 平成22年9月20日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月21日 至 平成22年9月20日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、スーパーマーケットを中心に関連した商品・サービス別の事業セグメントから構成されており、商品・サービス内容から、「小売事業及び小売周辺事業」、「スポーツクラブ事業」、「不動産事業」を報告セグメントとしております。

「小売事業及び小売周辺事業」は、生鮮食品、加工食品、日用雑貨、衣料品の販売を主体とするものであり、「スポーツクラブ事業」は、スポーツクラブを運営し、「不動産事業」は、店舗等不動産の賃貸を行なっております。

2 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月21日 至 平成23年9月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書上額 (注) 2
	小売事業 及び小売 周辺事業	スポーツ クラブ事業	不動産事業	計		
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	50,521,044	383,799	158,664	51,063,508	—	51,063,508
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	41,905	—	—	41,905	(41,905)	—
計	50,562,949	383,799	158,664	51,105,414	(41,905)	51,063,508
セグメント利益又は損失(△)	191,490	13,936	23,485	228,912	(394,108)	△165,195

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用394,108千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。